

令和元年6月17日

発生予察及び病虫害防除等担当課（係）長 様

新潟県病虫害防除所業務課長

令和元年度新潟県病虫害発生予察速報第4号の送付について
(斑点米カメムシ類の発生状況)

このことについて、別紙のとおり送付しますので、防除指導の参考にしてください。

(情報の問い合わせ先)

	TEL	FAX
新潟県病虫害防除所	0258(35)0867	0258(35)7445
〃 下越駐在所	0254(27)5518	同左
〃 佐渡駐在所	0259(63)3185	0259(63)4386

令和元年度
新潟県病害虫発生予察速報第4号
(斑点米カメムシ類の発生状況)

- 1 斑点米カメムシ類主要加害種の発生状況（6月上旬、水田畦畔すくい取り調査結果）
- (1) カメムシの種類別発生量（表1、2）
- ・アカスジカスミカメの確認地点率は**平年比**高く、すくい取り虫数は**平年比**やや多い。
 - ・アカヒゲホソミドリカスミカメの確認地点率は**平年比**やや高く、すくい取り虫数は**平年並**。
 - ・オオトゲシラホシカメムシの確認地点率は**平年比**やや低く、すくい取り虫数は**平年比**やや少ない。
- (2) 出穂・結実したナギナタガヤ、イタリアンライグラス等のイネ科雑草が多い畦畔でアカヒゲホソミドリカスミカメやアカスジカスミカメが多く生息している事例が見られる。
- (3) 6月13日現在、北陸地方では向こう1か月間の気温が平年比低く推移すると見られる。

表1 斑点米カメムシ類の畦畔すくい取り確認地点率（単位：％）

種 類	年次	下越	新潟	中越	魚沼	上越	佐渡	県全体
アカスジカ スミカメ	本 年	85.7	58.3	46.2	63.6	50.0	100	67.7
	前年(平30)	35.7	53.8	23.1	53.8	0.0	33.3	33.8
	平 年	36.7	44.0	43.9	39.2	19.8	47.6	38.6
	平年比	高	並	並	やや高	高	高	高
アカヒゲホ ソミドリカ スミカメ	本 年	50.0	50.0	30.8	9.1	16.7	0.0	29.2
	前年(平30)	35.7	23.1	30.8	30.8	0.0	0.0	21.6
	平 年	26.5	16.5	33.4	40.3	14.7	9.3	24.1
	平年比	高	高	並	低	並	やや低	やや高
オオトゲシ ラホシカメ ムシ	本 年	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	6.2
	前年(平30)	21.4	0.0	15.4	15.4	8.3	0.0	10.8
	平 年	12.2	8.8	14.2	20.0	12.3	4.2	12.4
	平年比	並	やや低	やや低	低	やや低	やや高	やや低

表2 斑点米カメムシ類の畦畔すくい取り虫数（単位：頭／地点、20回振り）

種 類	年次	下越	新潟	中越	魚沼	上越	佐渡	県全体
アカスジカ スミカメ	本 年	12.9	9.5	1.2	4.5	4.2	22.3	7.7
	前年(平30)	3.1	2.0	0.8	9.9	0.0	2.4	2.8
	平 年	3.7	2.7	6.3	10.7	1.7	5.0	4.8
	平年比	多	多	やや少	やや少	多	多	やや多
アカヒゲホ ソミドリカ スミカメ	本 年	1.2	3.2	1.0	0.3	0.2	0.0	1.4
	前年(平30)	0.6	1.1	1.2	0.6	0.0	0.0	0.8
	平 年	0.6	1.0	1.8	2.3	0.3	0.3	1.2
	平年比	多	多	並	やや少	並	やや少	並
オオトゲシ ラホシカメ ムシ	本 年	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
	前年(平30)	0.2	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1
	平 年	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.2
	平年比	並	やや少	やや少	やや少	やや少	やや多	やや少

※表1, 2：畦畔すくい取り調査結果（病害虫防除所巡回調査、65地点、6月上旬）

2 当面の対応と注意事項

斑点米カメムシ類主要加害種のうち、カスミカメムシ2種（アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）の発生量は斑点米の発生に大きく影響するため（図参照）、以下の対策を徹底しこれらのカメムシの増殖を抑制する。

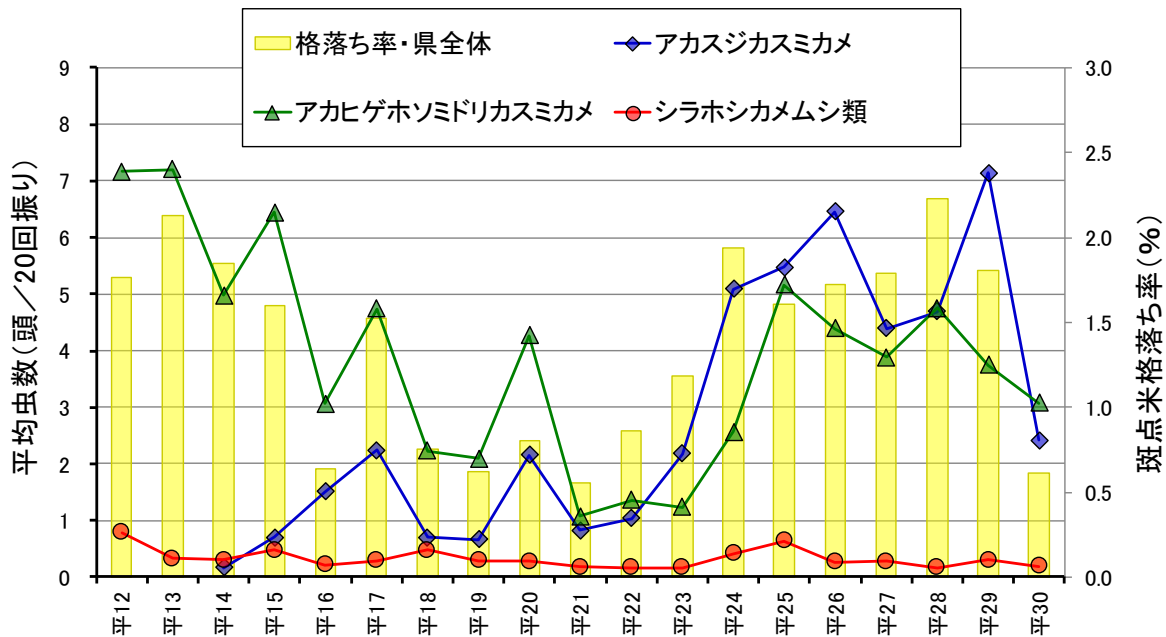


図 斑点米カメムシ類主要加害種の水田畦畔における発生量と斑点米格落ち率の年次推移

(1) 水田周辺の雑草管理

ア カスミカメムシ類は、メヒシバ、イタリアンライグラス、エノコログサ等の出穂したイネ科植物に好んで寄生し、増殖する。畦畔・農道等の除草を徹底し、斑点米カメムシ類の増殖を抑え、水稻の出穂期以降の水田侵入量を減らす。

イ イネ科雑草が繁茂している場合は、速やかに草刈りを実施する。また、防除実施前に雑草が繁茂するようなら再度草刈りを行い、除草を徹底する。

ウ 水稻の出穂期後もメヒシバ等のイネ科雑草が出穂・結実しないよう除草を継続する。

(2) 水田内雑草の管理

水田内雑草（ノビエ、イヌホタルイ等）の繁茂・結実は、斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を助長する。特に水稻の出穂期頃の水田内に開花したイヌホタルイが多いとアカスジカスミカメが侵入しやすく、被害が大きくなるため早めに除去する。

(3) 注意事項

ア 水稻の出穂期予想の情報を留意し、品種ごとに適期に薬剤防除できるよう防除計画を立てる。

イ カメムシ類の発生動向については今後発表される最新の発生予察情報に留意する。